

第1回 啓発部会 会議報告書

- 1 日 時 令和8年1月8日(木)15:00 から 16:35
- 2 場 所 入間市役所 C 棟505会議室
- 3 出席者 田邊部会長、横田副部会長、森田委員、富田委員
オブザーバー:荻野副会長
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 市村
- 6 内 容
 - 1)新委員の紹介、委員自己紹介
 - 2)検討課題(施策)について現状の意見交換及び情報共有
 - 施策 9 障がい者福祉について関心や理解を深めるために
 - 施策 10 福祉ボランティア活動を支援する
 - 施策 11 障がい者スポーツ・文化活動を支援する
 - 施策 12 だれもが安心して使いやすい施設とするために
 - 施策 13 成年後見制度の周知と成年後見制度利用支援事業の推進
 - 施策 14 障がい者の権利をまもる

◆自己紹介をしながら施策を音読。意見交換

○障がい者自身が意識してコミュニケーションをとることで関係は改善する。

○「誰でも参加可能」なイベントでも、ろうあ者が参加する場合、主催者側が手話通訳者等配置しているか確認しなければならない。配置なしの場合は意志疎通支援事務所に予約する。当日自分が体調不良となっても通訳者の予約があるので無理していかねばならないと負荷がかかる。

→個人差もあるが、そういったことは気にせずに。

○イベントへ参加、不参加を気軽に本人が決める、それが当たり前になる社会にしなければならない。

→イベント等の告知ポスターに「誰でも」標記ある場合、手話通訳等人員配置が当たり前でなくてはいけない。

○ボランティア送迎者が(寝坊や予約を忘れる等で)来ない事があった。ろうあ者は連絡も確認もとりにようがない。待っているしかないのが現状。

○手話通訳者数はニーズに対応できる数いらっしゃるのか。

→県の試験が厳しいと意見もあるようだが、手話通訳者はろう者の命を預かる

仕事なので、今後も養成講座等頑張ってもらいたい。

2 今後の検討内容について協議

○本日の意見や現状を基に次回の部会で検討をする

3 次回開催 3月中に部会を開催する。

以上。

第2回 啓発部会 会議報告書

1 日 時 令和8年3月27日(金)15時から16時45分まで

2 場 所 入間市役所 C棟5階 501会議室

3 出席者 田邊部会長、森田委員、富田委員
オブザーバー:今井会長、荻野副会長

4 欠席者 横田副部会長

5 事務局 市村

6 内 容

◆「障がい福祉に関するアンケート調査報告書」について、啓発部会に関する項目を事務局から説明

◆委員からの意見

- ・回収率が増えたことは、障がい者自身がプランやその為のアンケートがある事を知る人が増えたので、良いこと。
- ・広報誌だけにとらわれず情報発信の場を広げていく。

◆冊子(プラン)への要望

- ・冊子でプランを見る際、パッと見て分かりやすい表記、視覚的に分かりやすくシンプルな表記を希望する。➡そのような資料なら理解も深まるし、施策に対する個人の意見も出やすくなる。
- ・前回のアンケートとの比較が表記されるとよい。
- ・説明文とそのグラフは同じページで表示するべき。説明文に、数ページ離れたグラフを見るような指示がある。あちこち見に行く仕様では理解されにくい。
- ・何かを参照、と表現はせず、その場に合う文言、イラスト、グラフを掲載する。
- ・「取り組み」の内容は具体的でわかりやすく適切な表現にする。
- ・アンケート結果、プラン、広報等、紙媒体と電子データと分けて欲しい(要望)。

◆施策

≪施策9≫障がい者福祉について関心や理解を深めるために

- ・施策の変更無しだと9年間同じとなる。

≪施策10≫福祉ボランティアを支援する

- ・イベントの実施要領に障害者の対応は記載されていない➡事業の実施要領に記載あれば、確認をすることが可能➡イベント担当者の取り組みが大事

- ・障害者自身がボランティアをしたい。できることたくさんある
- ・ボランティアは健常者の者だけだと思いませんか？➡お互いに。相互である。

例)ろうあ者は、健常者世帯にろう者が出生した場合、自分の経験等話したり、その家族と話し不安を聞いたり相談が可能。そういったボランティアはあるべき。

《施策11》

- ・文化活動は進んでいるし広がっている(障害者週間の展示、団体主催の展示会等)
- ・スポーツ大会は施設対抗のようにになっている➡個人が気軽に参加できる仕様が望ましい。
- ・高齢化の問題が大きい。参加者が増えるよう内容を見直すべき。

◆まとめ

- ・現プランの評価(アンケート結果を見やすく)➡問題点提起➡コメント➡課題
- ・アンケートから、課題を判断し文言を決めていく。
- ・施策と取り組みは、基本、継続する。ただし、取り組み内容をわかりやすくする。
- ・このアンケート結果を参考にしながら現在のプランの施策をつぶしていく。
- ・重点課題(6)について、部会として内容の検討・精査をしたい

第3回 啓発部会 会議報告書

- 1 日 時 令和8年4月14日(火)15時から16時30分まで
- 2 場 所 入間市役所 5階 第4委員会室
- 3 出席者 田邊部会長、森田委員、富田委員
- 4 欠席者 横田副部会長
- 5 事務局 市村
- 6 内 容

◆田邊部会長より

- ・部会では「基本的なもの」を取組内容として作り上げていく。プランは「総体的なもの」「入間市障害者計画」に[取り](#)込んでいけるように検討したい。
- ・取組内容に対し「どれだけやれるのか」の数字で示された目標値に対し実施していくためプランの表現(視覚的に分かりやすいもの)を検討していきたい。

◆委員からの意見

【重点課題7】社会参加への支援(前:障がい者スポーツ・文化活動等への支援)

〔施策11〕

◎施策内容の文化、スポーツだけでなく、他にもあるのではないかな？

➡事務局より文言を提案していただき、審議会で協議検討していきたい。

〔施策12〕

◎施策内容を具体的文言で表現したい。

◎「出かけること」への大変さ、苦勞が多くある。

・わからないことを誰に聞いたらいいのかわからない、誰かに聞くにしてもどうすれば聞けるのか、そんな苦勞が重なり続けると出かけるのを控えてしまう。

・障がい者自身が店舗等に不便さを直接伝えることが可能な時、伝えたことでその店舗と揉める事が多くある。また、障害者団体が伝えても動いてくれない事実がある。

➡障がい者自身が伝えることも大事だが、理解のある店舗、団体、健常者個人等が、障がいへの理解や周囲への助言等をしていけばサポートの輪が広がっていく。

➡取組について、公共の場(駅やバス、役所等)と、買い物などの出かける場所を分けていく方が良い。文言を具体的に。

【重点課題9】権利擁護

〔施策13〕

制度の名称だけでなく、内容について正しく、広く普及・啓発図る。

その為の目標値(講座の回数を増する等)が必要では。

◎成年後見人制度について、名称の認知度は上がっても内容は知られていない。

・制度を利用するにあたり料金の支払いが発生する

➡お金がかかる、と知った時点で利用をしないと決め、詳細は不明なまま。

➡なぜお金がかかるのか、仕組みを理解していただくこと、詳細を広くしらしめる事が必要。

そのうえで、利用したい、お金がかかるなら不要、と障がい者が選べる環境に。

利用したい際、補助制度があるとよい。(施策14にもつながっていく)

・周知啓発のチラシにも料金について記載がある方がよいのではないかな。

〔施策14〕

障がいについて周知啓発をあらゆる媒体(HP、SNS等)でしていく。

➡健常者の理解が高まり、すれ違いの認識を少しでも無くしていく。

※プラン(冊子)について

見やすい、理解しやすい配置(デザイン)が良い。グラフとその説明の文言が別ページ等の不便を感じると読まれない。障がい者の皆様に読んでいただける努力が必要。その上で健常者の理解を促し啓蒙していく。